

岡崎城跡整備基本計画

—平成 28 年度改訂版—



平成 29 年 3 月

岡 崎 市

岡崎城跡整備基本計画

—平成 28 年度改訂版—

平成 29 年 3 月

岡 崎 市



岡崎城本丸の天守（昭和 34 年復興）と天守台



菅生川端石垣（平成 29 年発掘調査）

序 文

緑豊かに広がる地の川辺にたたずむ岡崎城、その背後には累々と山なみが連なる一岡崎城跡一帯は、岡崎のまちの歴史や自然が感じられる象徴的な場所です。市中央を縦に貫く矢作川と東から流れこむ乙川（菅生川）によりつくられた変化に富む自然を舞台に、原始より人々が積み重ねてきた歴史の上に岡崎城が築かれ、城下の繁栄が現在のまちを形づくってきました。

また、岡崎城は戦国の世に徳川家康公が誕生し幼少期を過ごし、後に全国を統一して江戸幕府を開き泰平の時代を築く足がかりとなった城です。

明治維新後、廃城と戦災などにより市街地において岡崎城の面影を感じられる場は少なくなっていますが、昭和 37 年には市指定の史跡となった岡崎公園には、堀や石垣が保存され、城跡と緑地が一体となった美しい空間となって、市民に親しまれています。

平成 28 年度は、市制施行 100 周年という節目の年にあたり、先人の築き上げた歩みを振り返るとともに未来を見据え、本市の歴史文化資産を活かす「岡崎市歴史的風致維持向上計画」を策定し、歴史まちづくりの取り組みが始まりました。

その中で核となる岡崎城跡がもつ歴史的・文化的価値を更に高めるため、この度、平成 15 年度に策定した「史跡岡崎城跡整備基本計画」を改訂し、岡崎城跡の顕在化を図る計画を策定しました。歴史的物事の一つひとつをしっかりと事実確認しながら、岡崎城跡全体の史跡としての価値を将来に伝え、歴史の重層性を感じられるまちづくりを進めることで、このまちに生まれ育った子ども達が「ふるさと岡崎」に対し、愛情と誇りを持てる「夢ある新しい岡崎」を創造してまいります。

最後に、本計画の策定にあたりまして、御尽力をいただきました岡崎城跡整備基本計画検討委員会委員の皆様をはじめ、御意見をお寄せいただいた市民の皆様、関係された多くの皆様に感謝を申し上げます。

平成 29 年 3 月

岡崎市長 内田 康宏

目 次

第 1 章	整備基本計画改訂の目的	1
1-1	背景と目的	1
1-2	計画の位置付けと計画策定の流れ	2
1-3	計画の範囲	4
1-4	策定の体制と経過	5
第 2 章	岡崎城跡の概要	7
2-1	史跡指定の概要	7
2-2	自然環境	8
2-3	社会環境	11
2-4	歴史環境	14
2-5	岡崎城跡の現状	38
2-6	岡崎城跡の価値	64
第 3 章	保存管理計画	69
3-1	岡崎城跡（史跡指定域）の現況	69
3-2	岡崎城跡を構成する諸要素	73
3-3	保存管理の基本方針	78
3-4	保存管理の方法	79
3-5	現状変更等の取扱いの方針及び基準	83
第 4 章	整備基本方針	89
4-1	既存整備計画、関連整備計画	89
4-2	整備に向けての課題	93
4-3	整備基本方針	94
第 5 章	整備基本計画	97
5-1	地区区分の設定（ゾーニング）	97
5-2	調査研究計画	103
5-3	保存修復計画	106
5-4	復元整備計画	108
5-5	環境整備計画	113
5-6	公開活用計画	124
5-7	管理運営計画	126
第 6 章	事業計画	129
6-1	短期事業計画	129
6-2	中長期事業計画	131

資料編

